

中途採用に関する情報公表に係る主な検討課題

<視点・留意点>

- 人生100年時代においては、働く意欲がある労働者が、その能力を十分に発揮するため、中途採用を通じて「その能力をよりよくいかせる職場を求める」ニーズが増していくのではないかと。また、就職氷河期世代や中高年齢者にとって、中途採用を通じて良質な雇用機会を求めるニーズは高いのではないかと。
- 技術革新や市場環境の変化が進む中、新卒労働市場の縮小も相まって、企業にとっては中途採用を通じて「社内にはない高度な技術、一定の専門性や経験を有する人材を社外から確保する」ニーズが増していくのではないかと。
- 中途採用に係る情報の公表は、職場情報が見える化し、中途採用を希望する労働者と企業のマッチングを促進するものとして有効ではないかと。

<検討課題>

今後、企業に中途採用に関する情報公表を求めていくこととする場合、例えば、以下のような検討課題があるのではないかと。

- 情報公表を求める対象企業について
- 公表する情報の内容について
- 情報の公表方法、必要な準備期間、支援等について